

令和4年度 高梁市在宅医療・介護連携推進事業報告

全体目標	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療と介護の関係者が協力して、在宅医療と介護の連携強化を図る
重点目標	・医療と介護の関係者が協働・連携を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる。
	・ICTの利活用によって、業務の効率化や多職種間の連携を図ることができる。
	・人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が、対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援できる。

今年度の評価	<p>岡山県薬剤師会高梁支部による「多職種連携の中での薬剤師の役割」と題した多職種連携研修会を開催し、多くの専門職が参加した。内容は、薬剤師の業務、残薬の対応、副作用、飲み合わせなど多岐にわたり、薬剤師に対する職の理解、服薬に関する知識と理解が深まった。薬剤師が患者や利用者に対し電話でのフォローアップや残薬調整をしている現状を知り、今後薬剤師を含めた多職種での連携が深まることで支援のさらなる向上が期待できる。</p>
	<p>会議や研修会等の開催方法を主にハイブリットでの開催とし、参加者の感染防止や移動時間削減等の効率化を図ることができた。</p> <p>多職種情報連携ツール「ケアキャビネット（やまぼうし）」システムについて、令和4年度末をもって「晴れやかネット」の運用が終了することに伴い、ケアキャビネットの今後の進め方等について関係者間で協議し、継続利用の方向性とした。引き続きシステムの活用について支援するとともに、関係者間の連携の強化が図られ、さらなるケアや支援の向上と業務の効率化を目指し、医療介護システム及び地域ネットワークの構築に向けて検討を要する。</p>
	<p>人生会議（ACP）の話し合いガイドと記入シートを作成し、研修会や説明会で活用するとともに、50歳の節目健診案内送付時に同封し、人生会議の取り組みについて普及・啓発を図った。また、実務者が人生会議の高い知識を有したうえで患者や利用者に対応するため、人生会議の話し合いガイド・記入シートの実務者版取扱説明書を作成した。今後人生会議の話し合いガイド・記入シートの有効活用で本人が望む医療やケアが進められることが期待できる。</p>

		計 画	実 績
今年度の主な事業	1	令和4年度高梁市医療・介護市民公開講座 第1部 在宅医療・介護連携の普及・啓発 第2部 市内の医療機関・介護事業所の紹介	令和4年度高梁市医療・介護市民公開講座 第1部 在宅医療・介護連携の普及・啓発 寸劇上映「人生会議～自分らしく生きるために」 第2部 介護施設について 第3部 薬剤師の役割と服薬について
	2	人生会議（ACP）の普及・啓発	・ACPツールの実務者版取扱説明書を作成 ・高梁市医療・介護市民公開講座にて、寸劇を通じて人生会議（ACP）を啓発
	3	ICTを活用した医療・介護連携システムの在り方検討	・ケアキャビネットWEB会議機能の活用強化 ・新たな医療介護連携システムの検討
	4	実務者部会実施事業 ・多職種連携研修会 ・ACP実施に向けての検討	・令和4年12月 多職種連携研修会 ・人生会議（ACP）ツールの実務者版取扱説明書を作成
	5	高梁かごねっと（高梁医師会）委託事業 ・専門職のスキルアップと人材育成	・令和4年10月 認知症研修会 ・令和4年12月 感染対策研修会

会議	第1回	令和4年7月22日（金） ・令和4年度の取組みについて	ハイブリット開催
	第2回	令和5年3月10日（金） ・今年度の事業取り組みについて ・次年度に向けての課題と方向性について	ハイブリット開催